

三条教区通信

第110号

発行日 2016年8月9日
 発行者 三条教務所長 森田成美
 発行所 真宗大谷派三条教務所
 〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
 E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
 ホームページ: www.gobosama.net

三条教区

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

まどえる身にも
 信あらば
 生死のままに
 涅槃あり

感染凡夫信心発 証知生死即涅槃
 『和訳正信偈』(真宗教団連合制定)

When shinjin is awakened in our deluded self, we
 realize that birth-and-death is itself nirvana.

Classical Japanese Translation of Shoshinge,
 by Shinshū Kyōdan Rengō

三条教区災害対策委員会のお知らせ

2016(平成28)年熊本地震について、教区内寺院・教会をはじめ有縁の皆様から募りました救援金は、2016年8月10日現在で総額4,950,209円となりました。

ご協力いただきました皆様に深く感謝いたします

2016年6月30日付で4,097,161円を熊本教区に送金いたしましたことをご報告いたしますとともに、受付を継続させていただいておりますので、引き続きご協力賜りますよう、何卒、お願い申し上げます。

次回の熊本教区への送金予定は11月下旬を予定いたしております。

また、8月22日から25日まで、災害支援実行委員会及び事務局の3~4名で宗派ボランティアセンターを窓口として、寺院・御門徒宅の片づけや清掃等、避難所・仮設住宅等での炊き出しや物資の搬送・配布等の自治体のボランティア活動を行う予定です。

福島原発事故から5年が経ち、いまだ多くの方々が放射能被害の不安の中で生活しておられます。本年夏も、8月16~19日に「新潟のお寺に泊まろう! 夏休み キャンプ&お寺宿泊体験」として、福島の子どもたちを放射能

被害から守る一時保養を行い、楽しい夏休みの思い出を作ってもらえたらと願っています。

これまで皆様からご協力いただいてまいりました東日本大震災救援金は2014年度末(2015年6月30日)現在、総額14,424,675円となりました(使途:仙台教区へ10,000,000円、東京教区へ2,000,000円、復興支援活動資金3,825,805円)。

2015年度より、東日本大震災救援金は、引き続き災害救援・復興カンパ金としてお受けいたしており、現在までにご協力いただいた金額は317,148円となりました。

御礼を申し上げますとともに、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研修会のご案内

■ 声明基本講習会

開催案内既送

- ◆日時 2016年8月22日(月)9:30~16:00
- ◆会場 教区同朋会館
- ◆講師 声明講習会部門スタッフ
- ◆参加費 500円
- ◆申込み 2016年8月16日(火)まで
- ◆問合せ 三条教務所(天兒)

■ 大谷大学同窓会「夏季八十講」

- ◆日時 2016年8月30日(火)15:00~
 - ◆会場 三条別院旧御堂
 - ◆講師 水島見一氏(大谷大学教授)
 - ◆講題 曾我教学-法蔵菩薩と宿業-
 - ◆聴講料 無料(どなたでも聴講いただけます)
- ※同窓生の方々には三条支部から支部総会通知と合わせて、ご案内しております。

■ 法灯の集い

開催案内同封

- ◆日時 2016年9月13日(火)~14日(水)
- ◆会場 ホテル万長(佐渡市相川)
- ◆講師 田澤一明氏(第19組明誓寺)
- ◆講題 「存在の大地」
- ◆参加費 懇親会、宿泊、朝食込みの方13,000円
懇親会出席で宿泊無しの方7,500円
聴講のみの方1,000円
- ◆対象 どなたでも
- ◆申込み 2016年8月26日(金)まで
- ◆問合せ 三条教務所(藤波)

■ 「差別と真宗」交流学習会

開催案内同封

- ◆日時 2016年9月29日(木)～30日(金)
- ◆会場 国立療養所栗生楽泉園
- ◆講師 藤田三四郎氏(楽泉園入所者自治会長)
- ◆参加費 15,000円(宿泊・夕食・朝食含む)
- ◆対象 どなたでも
- ◆申込み 2016年8月31日(水)まで
- ◆問合せ 三条教務所(藤波)

■ 長岡地区女性研修会

開催案内同封

- ◆日時 2016年9月30日(金)9:30～15:00
- ◆場所 第15組長泉寺
- ◆講師 齊藤 研氏(第15組正樂寺)
- ◆テーマ 正信偈に学ぶ～人身受け難し～
- ◆対象 どなたでも
- ◆申込み 2016年9月15日(木)まで
- ◆参加費 1,500円
- ◆問合せ 三条教務所(西山)

教務所からのお知らせ

◎退任のご挨拶

北海道教務所長 池守 章

このたび、6月29日付をもちまして北海道教務所長として転任することとなりました。

私にとって三条教区にお世話になった二年間、総てに渡り未熟者である私を受け入れていただき、三条教区・三条別院挙げての宗祖御遠忌法要の厳修や報恩講の執行、教区教化事業実施の際には建設的なご意見や、場合によっては厳しい指摘、励ましをいただきました。その叱咤激励は未熟である私に対しての不安と期待が入り混じっていたが故と推測いたします。その事から思います三条教区御同朋御同行は、私にとってよき師であり、よき人であったと存じます。

また、在任期間中に三条教区・三条別院を支えてくださるご寺院並びにご門徒の篤い願いを感じさせていただき、様々な貴重な経験・体験をさせていただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

新任地におきましても、三条教区で学んだ尊い経験を糧として一層精進いたす所存でありますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本来であれば、直接訪問してお一人おひとりにご挨拶と感謝を申し上げるべきではありますが、略儀ながら書中をもって転任のご挨拶とさせていただきます。

総務部書記 宮野 慧

このたび、8月1日付をもちまして宗務所総務部書記として転任することとなりました。

三条教務所書記として在職いたしました3年3ヵ月の間、三条教区の皆様には大変お世話になり、有難うござ

いました。

3年前の着任当時、三条教区・三条別院の宗祖御遠忌法要厳修への準備が本格化し緊張感もある中、右も左もわからない新人の私を、教区の皆様は本当にあたたかく迎え入れてくださいました。日々の宗務や教区御遠忌法要への種々の取り組みに際し、私の未熟さゆえご迷惑をおかけしたことも多々ございましたが、そのたびに頂戴する皆様からの叱咤激励のお声にお育ていただいた3年間でございました。

宗務役員として、また一人の僧侶としてお育てをいただいた三条の地を離れるにあたっては、本当に寂しい気持ちでいっぱいですが、また成長した姿で皆様にお目にかかることができるよう、ますます宗務に精進してまいります。

これまでのご厚情に改めて御礼申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

◎着任のご挨拶

三条教務所書記 天兒 悠



このたび、8月1日付けで三条教務所書記補を拝命いたしました、天兒悠(あまこゆう)と申します。山陽教区の兵庫県出身です。

以前は大谷祖廟事務所・嘱託として勤めておりましたが、教務所への配属は三条教区が初めてとなります。

初めて訪れる地ということもあり不安もございますが、皆様とのご縁を大切に、また、ご縁を頂いた三条教区が自分にとってもう一つの故郷であり、大切な場所だと胸を張って言えるよう、日々の宗務を精一杯頑張りたいと思っております。

右も左も分からない未熟な身でありますので、至らぬ点多々あろうかと思いますが、どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

同じく8月1日付、三条教務所書記として宇佐美摩耶(前小松教務所書記)が着任しました。ご挨拶は次号に掲載させていただきます。

◎2016年度教区会・教区門徒会のご報告について

三条教区教区会(楠 雅丸議長 第18組西源寺)及び三条教区教区門徒会(土田 隆会長 第14組了元寺)がそれぞれ7月26日及び29日に開催され、上程された議案すべてについて可決いただきました。

可決事項については『2016年度 三條教区報』告示欄に報告させていただきます。

◎年間書(法語カレンダー等)のお申込みについて

法語カレンダーや報恩講冊子などの注文書を本号に同梱しております。注文数及び到着時期についてご記

入いただき、郵送またはFAXにて教務所までお申込みください。また、三条教区作成の「帰敬式リーフレット」についてもあわせてご注文を承ります。

なお、締め切り(8月22日)までに申し込みいただけない場合は、ご希望の数量や納期にお応えできないことがありますので、お早目にお申込みください。

◎新刊書のご案内

原発震災と私たち-いのちを奪う原発②



待望の「原発ブックレット」第2弾！

発行年月日： 2016/06/28
 ページ数： 168 頁
 判型： A5
 ISBN： 978-4-8341-0533-9

2011年3月の福島第一原発事故によって、あらためて私たちは人知の闇の深さをつきつけられることとなった。事故によって露呈した原発の問題性をあらためて見つめ、被ばくがもたらす悲しみ・痛みが映し出す人間と国家のありかたを問い直す一冊。

- ・「プロローグ／どこに立つのか」 藤井学昭(編集委員)
- ・「福島で今、起こっていることは、日本社会の縮図である」 中下大樹(真宗大谷派祐光寺衆徒)
- ・「原発事故は今も終わらない」 武藤類子(福島原発告訴団団長)
- ・「人々に被ばくを強要する「国際放射線防護委員会」(ICRP)の被ばく基準―フクシマ原発事故の被ばくを考える―」 振津かつみ(医師・チェルノブイリヒバクシャ救援関西)
- ・「インタビュー／原子力政策と住民のいのち」 村上達也(茨城県東海村元村長・「脱原発をめざす首長会議」世話人)
- ・「インタビュー／なぜ、原発再稼働の動きは止まらないのか」 河野太郎(「原発ゼロの会」共同代表)
- ・「座談／原発震災から問われ続けること」(編集委員)
- ・「犠牲を求める社会に念仏者として生きん」 長田浩昭(編集委員)

◎教区行事予定表 2016年

8/12(金)	～17(水) 教務所事務休暇
8/16(火)	～19日 夏の保養事業－夏休み大自然でキャンプ－お寺宿泊体験
8/17(水)	～19日 児童夏の集い(グリーンピア津南)
8/18(木) 14:00	声明スタッフ学習会
8/20(土) 14:00	～21日 12:15 真宗学院特別講義 1・2
8/22(月) 9:30	声明基本講習会
8/26(金) 18:00	教務所長歓送迎会(於 二洲楼)
8/27(土) 14:00	真宗学院
8/30(火) 14:00	大谷大学同窓会(15:00 講演会)
9/3(土) 14:00	真宗学院
9/5(月) 14:00	青少年3部門全体会議
9/10(土) 14:00	真宗学院
9/13(火) 13:30	～14日(水)法灯の集い(於佐渡組) 教区坊守会役員会
9/17(土) 14:00	真宗学院
9/21(水) 14:00	企画委員会
9/26(月)	～27日(火) 教学研究会移動輪読会
9/29(木)	～30日(金) 差別と真宗交流学習会
9/30(金) 9:30	長岡地区女性研修会(15組長泉寺)

10/1(土) 14:00	真宗学院
10/3(月) 10:00	秋季声明講習会
10/4(火) 9:00	三条声明会
10/6(木)	第3回門徒戸数調査説明会

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれます。また、日程は変更される場合があります。

駐在教導のつぶやき

駐在教導 藤波法英

8年間ほど神奈川県私立幼稚園に勤めさせていただいたことがある▲働いていたというより、子ども達と生活し、工作、運動、劇作りと、ほとんど遊んでいたようなものだ▲最近、戦後最悪と表現される殺傷事件を犯した青年は26歳だという▲考えてみれば、私が幼稚園で働かせていただいていた頃に接していた子ども達とまさに同世代ということになる▲その青年にも確かに子どもの時代があったはずだと思いをめぐらせずにはおれない▲折り紙を折ったであろう小さな手、砂場で砂山を作ったであろう手、小さな生き物を愛でたであろうやわらかな手、その手で人を殺めてしまったのかと思ひ至ると、「さるべき業縁のもよおせば・・・」という言葉に引き戻される▲かといって、このことを書いて人間の人格形成がどうであるとか、教育がどうか、親の育て方がどうだとかを言及するつもりはない▲どのような出来事からであれ「さるべき業縁のもよおせば・・・」という言葉を押し戴く時、この私こそがいかに危うい存在であるか。そして同時に、いかに多くの人に支えられ、導かれ、育てられている存在かという事実には心底驚かされる。

新潟親鸞学会からのお知らせ

研修旅行『北陸 越前真宗四箇本山巡り』のご案内

真宗四箇本山として知られる誠照寺(真宗誠照寺派本山)、證誠寺(真宗山元派本山)、毫摂寺(真宗出雲路派本山)、専照寺(真宗三門徒派本山)を中心として越前・北陸を巡る研修旅行を企画しました。

1泊2日のコンパクトな日程ながら、親鸞聖人が越後へ送られる際の輿車に由来した「車の道場」など、私たちの越後とのつながり・歴史に触れることのできる充実した旅行となること間違いありません。是非ともご参加ください。

詳細は本号同梱のチラシをご覧ください。

旅行日 2016年9月12日(月)～13日(火)

参加費 お一人55,000円(人数により変動あり)

定員 30名

締切 2016年8月20日

立寄地 越前・鯖江・福井・あわら温泉

申込金 10,000円

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄
 〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町783 超願寺内
 Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Mail choganji@nifty.com